

戦争法の廃止を国に求める請願 総務常任委員会で賛成3人、反対4人

12月議会に出された「安全保障関連法を廃止する」を国に求める意見書提出」の請願（田川地区平和センター）は8日の総務常任委員会（佐藤博幸委員長）で審査され、賛成が加藤鉦一・石井清則・佐藤肇男議員の3人、反対が秋葉 雄・五十嵐一彦・小野寺佳克・佐藤又一議員の4人で反対多数の不採択となりました。

菅井巖・加賀山茂議員が紹介議員として質問に答えました。

「読書のまち 鶴岡」宣言の制定に関する請願（進める会・黒羽根洋司）は9日の市民文教常任委員会（本間新兵衛委員長）で継続審査とされ、「TPP交渉に関する意見書提出を求める」請願（田川食健連）も、11日の産業建設常任委員会（本間新一委員長）で継続審査とされました。

専守防衛が崩され、自衛隊が違憲の存在となる

「安全保障関連法」の廃止を国に求める意見書提出の請願について、加藤鉦一議員はつぎのように賛成討論をおこないました。

第1に、平和安全法制は戦争法以外の何も無い。集団的自衛権行使は憲法九条を真つ向から蹂躪するもの。九条は戦争放棄を掲げているだけで無く、戦力の不保持、交戦権の否認も規定している。他国の戦争に加担する集団的自衛権の行使は認められる余地はない。自衛隊は専守防衛の

法律に規定している補給、輸送、修理、整備、医療、通信などは武力行使と一体の兵站到外ならない。

第3に、日米新ガイドラインの実行法となつて、米軍の指揮下で軍軍調整所、同盟調整メカニズムがつくられ、アメリカへの戦争協力を実行する自動参戦装置となった。

安全保障関連法は立憲主義と国民主権を根底から否定するものであり、その廃止を求めて請願に賛成討論いたします。

実力組織で戦力ではないとの解釈で合憲とされてきた。しかし、戦争法成立により、専守防衛が崩され、他国に軍事支援ができるとなれば自衛隊の存在そのものが違憲の存在となる。

海外派兵の恒久法

第2に、世界のどこであれ、アメリカの起こした戦争に軍事支援を可能にした。海外派兵の恒久法によつて、地理的制約を取り払って米軍支援が可能とされた。

平成26.12月～27.11月 藤島ふれあい食センター 地場産産物使用状況

(1) 精米

使用量(kg)	使用割合
精米 (kg)	15,532.69 100.0%

(2) 大豆加工品等

品名	産地	使用量(kg)	使用割合
豆腐	庄内産	1,336.0	100.0%
生揚げ	庄内産	1,915.0	100.0%
皮揚げ	庄内産	140.0	100.0%
おから	庄内産	71.0	100.0%
味噌	藤島産	877.0	100.0%
青大豆	藤島産	80.0	100.0%
大豆	国産冷凍	21.0	20.8%
	県内産	0.0	0.0%
	藤島産	68.0	76.4%
納豆	庄内産	14.0	100.0%
きなこ	庄内産	0.0	0.0%
藤島産割合			22.7%
藤島産+庄内産割合			99.5%
計		4,522.5	

(3) 野菜

産地	使用量(kg)	使用割合
県外産	9,037.7	33.0%
県内産	160.0	0.6%
庄内産	1,902.9	6.9%
鶴岡産	1,882.7	6.9%
藤島産	14,403.8	52.6%
計	27,387.1	
藤島産割合		52.6%
鶴岡産+藤島産割合		59.5%
庄内+鶴岡+藤島産割合		66.4%

(4) 畜産物

品名	産地	使用量(kg)	使用割合
卵	県外他	0.0	0.0%
	藤島産	443.7	49.9%
	平飼(藤島)	445.3	50.1%
計		889.0	
牛肉	県内産	26.0	100.0%
	庄内産	0.0	0.0%
	藤島産	0.0	0.0%
	計	26.0	
豚肉	県外他	0.0	0.0%
	県内産	0.0	0.0%
	庄内産	1,533.5	100.0%
	計	1,533.5	
鶏肉	県外他	1,856.3	100.0%
	県内産	0.0	0.0%
	庄内産	0.0	0.0%
	計	1,856.3	

(5) 魚介類

産地	使用量(kg)	使用割合
県外他	4,046.5	90.0%
庄内沖	451.0	10.0%
計	4,497.5	

(6) 果物

産地	使用量(kg)	使用割合
県外産	1,315.8	60.4%
県内産	406.3	18.7%
庄内産	200.8	9.2%
鶴岡産	201.6	9.3%
藤島産	53.6	2.5%
庄内産+鶴岡産	402.4	18.5%

私の昭和 11

鈴木重雄（88歳・八色木）

5年生担任佐藤松作先生（尾花沢市牛房野）先生の新任校は、鶴岡市青龍寺小学校に7年間勤務され、八栄島小学校に転勤し私たちが担任された。

浅黒の顔をした頑丈な体でスポーツにも長じ物静かであったが、八栄島小学校は剣道が強いのに驚いたと言つた。先生から作文（綴り方、図画（ポスター））を書かされた思い出がある。

青龍寺小学校で7年目、宿直当番の日に奉安所の壁に穴が空いて

前年結婚した奥さんは朝日村本郷小学校熊出分校勤務だったので別居し、先生は八色木に下宿されたが、翌年奥さんが長沼小学校に転勤された。

その事件で校長も転勤を希望されたので本人も転勤を願い、八栄島小学校勤務となった。教頭職兼務であったので多忙であったと思ふ。

いるのを発見し、中に枯れ草とマツチが置かれ、警察の取り調べがあったとのこと。

学校給食の野菜 藤島産割合53% サンサン・畑の会中間実績検討会

藤島ふれあい食センターに地場産野菜を届けているサンサン・畑の会（去渡勝宏会長）の中間実績検討会が15日開かれ、地場産農産物の使用状況を検討しました。

野菜の藤島産割合は前年同期と比べ50・1%から52・6%に高まり、庄内+鶴岡産を加えると66・4%（前年71・0%）の実績となりました。

